

※平成 31 年度の重点的な取組について抜粋

(1) バンク事業	<p><求人・求職相談の充実による就業促進></p> <p>【NCCS(ナースセンターコンピューターシステム)の効果的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ NCCS データ及び就業・相談実績の分析に基づく効果的な求人、求職者支援の展開 ○ 第 6 次 NCCS への改修(2020.4)に伴う対応 <p>【求人施設に対する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 求人施設に対する積極的な求人登録への誘導(電話やファクシミリ等を活用した代行入力等の推進) ○ 求人施設に対する「分かりやすい求職票」作成支援 ○ 「ナースバンクバンクだより」年 2 回発行による求人活動に役立つ情報発信 ○ 求人施設への働き方改革関連法施行の情報提供 <p>【求職者に対する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規登録者に対する積極的な e ナースセンター活用方法の案内 <p>【ふれあいナースバンク(就職相談会)の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 参加施設の特色や魅力を効果的に求職者に伝えるための、テーマを設けた就職相談会の企画、開催 <p>【公的機関・関連団体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 求人登録数増加を目的としたハローワーク求人情報サービスの活用 ○ ハローワーク・ナースプラザ連携事業「巡回相談」の拡大 <p>【就業・採用状況の把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 就業者(無期雇用)の 6 か月後の就業継続状況の把握の実施と結果分析 <p><多様な働き方を支援する取組の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新卒・第二新卒者の就業支援強化 (求職者に対するキャリアカウンセリングの実施及び求人施設の把握) <p><看護職免許保持者の届出制度の定着に向けた支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設長に対する届出推進の協力依頼の実施 ○ ハローワークや自治体等と共催する就職相談会での周知 ○ 看護学生へのナースプラザ事業説明時の制度周知 																				
(2) 研修事業	<p>○ 総科目数 55 科目 (55 科目) ○ 総研修日数 254 日 (261 日) ○ 定員 4,004 名 (3,994 名)</p> <p>○ 新規研修 7 科目 ※ () は H30 計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅・地域看護関連研修: 「訪問看護の魅力」「在宅における褥瘡ケア」 ・ 最新の知見・技術研修: 「褥瘡ケアと創傷ケア」「せん妄の予防とケア」 ・ 今日的課題研修: 「在宅におけるサルコペニアと看護師が行うリハビリテーション栄養」 「地域包括ケアシステムの現状と課題」 ・ リーダーシップ研修: 「中堅看護教員ブラッシュアップ研修(2日間)」 																				
(3) 普及啓発事業	<p><一日看護体験学習事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生の参加促進: 教員への周知協力依頼 ○ 社会人の参加促進: facebook の運用による拡散 <p><ナースプラザ事業に関する情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 協会会館移転後対応と周知 																				
(4) 地域確保対策事業	<p><東京都看護職員地域確保支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復職支援研修《手厚くしっかり体験コース》《気軽にさくっと体験コース》の着実な実施 <p><東京都看護職員定着促進支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療圏看護部長会との連携強化 ○ 医療勤務環境改善支援センターとの連携強化 																				
31 年度予算	<p>【管理運営】</p> <table border="1" data-bbox="256 1917 1361 2123"> <thead> <tr> <th></th> <th>31 年度予算額 (案)</th> <th>30 年度予算額</th> <th>差引残</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>226,202 千円</td> <td>260,778 千円</td> <td>△34,576 千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>21,829 千円</td> <td>20,736 千円</td> <td>1,093 千円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>4,044 千円</td> <td>4,006 千円</td> <td>38 千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>252,075 千円</td> <td>285,520 千円</td> <td>△33,445 千円</td> </tr> </tbody> </table>		31 年度予算額 (案)	30 年度予算額	差引残	委託料	226,202 千円	260,778 千円	△34,576 千円	使用料	21,829 千円	20,736 千円	1,093 千円	負担金	4,044 千円	4,006 千円	38 千円	合計	252,075 千円	285,520 千円	△33,445 千円
	31 年度予算額 (案)	30 年度予算額	差引残																		
委託料	226,202 千円	260,778 千円	△34,576 千円																		
使用料	21,829 千円	20,736 千円	1,093 千円																		
負担金	4,044 千円	4,006 千円	38 千円																		
合計	252,075 千円	285,520 千円	△33,445 千円																		

